

奥州藤原氏接待館遺跡の現存保存と治水対策

一 関遊水地事業

県南広域振興局土木部

一関平泉地域は、カスリン、アイオン台風をはじめ、台風、集中豪雨等により幾度となく大水害に見舞われ、幾多の尊い人命と莫大な財産が失われています。このため、国による北上川上流河川改修の一大プロジェクトとして、この地域を洪水災害から守るための一関遊水地事業が進められています。

事業の一環として、衣川堤防工事が進められていますが、工事前の遺跡調査により、この地域に柳の御所遺跡に匹敵する価値の高い「接待館遺跡」が存在することが明らかになり、県では、国に対して、接待館遺跡の現存保存と治水対策との両立を要請しました。

事業を所管する国土交通省では、地域からの早期の治水対策の強い要請と、接待館遺跡の重要性を踏まえて、衣川堤防のルートを経路を迂回するよう変更するとともに、緊急的な治水対応を行うことを決定しました。

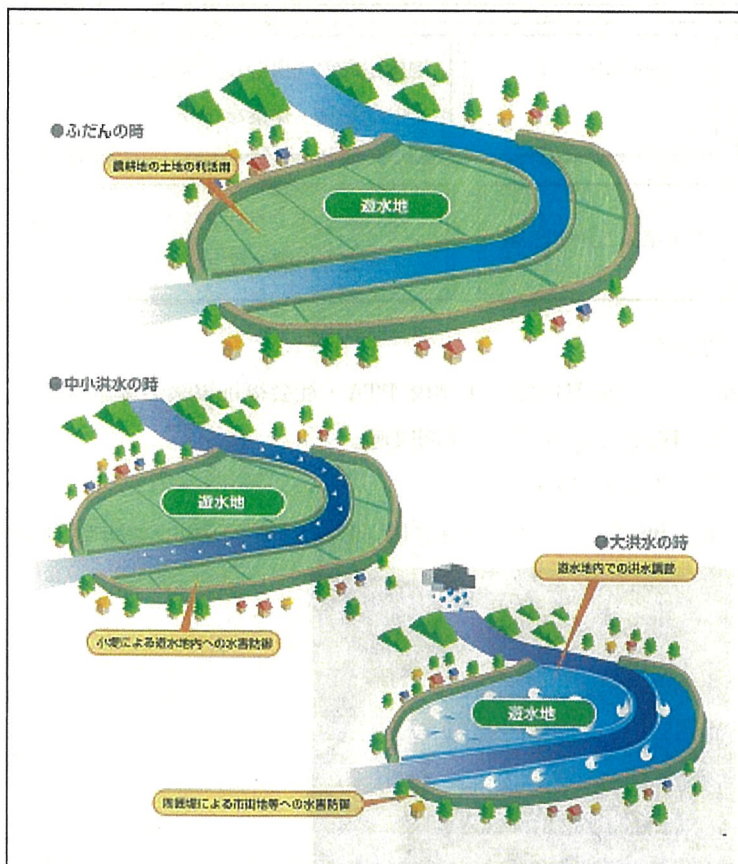
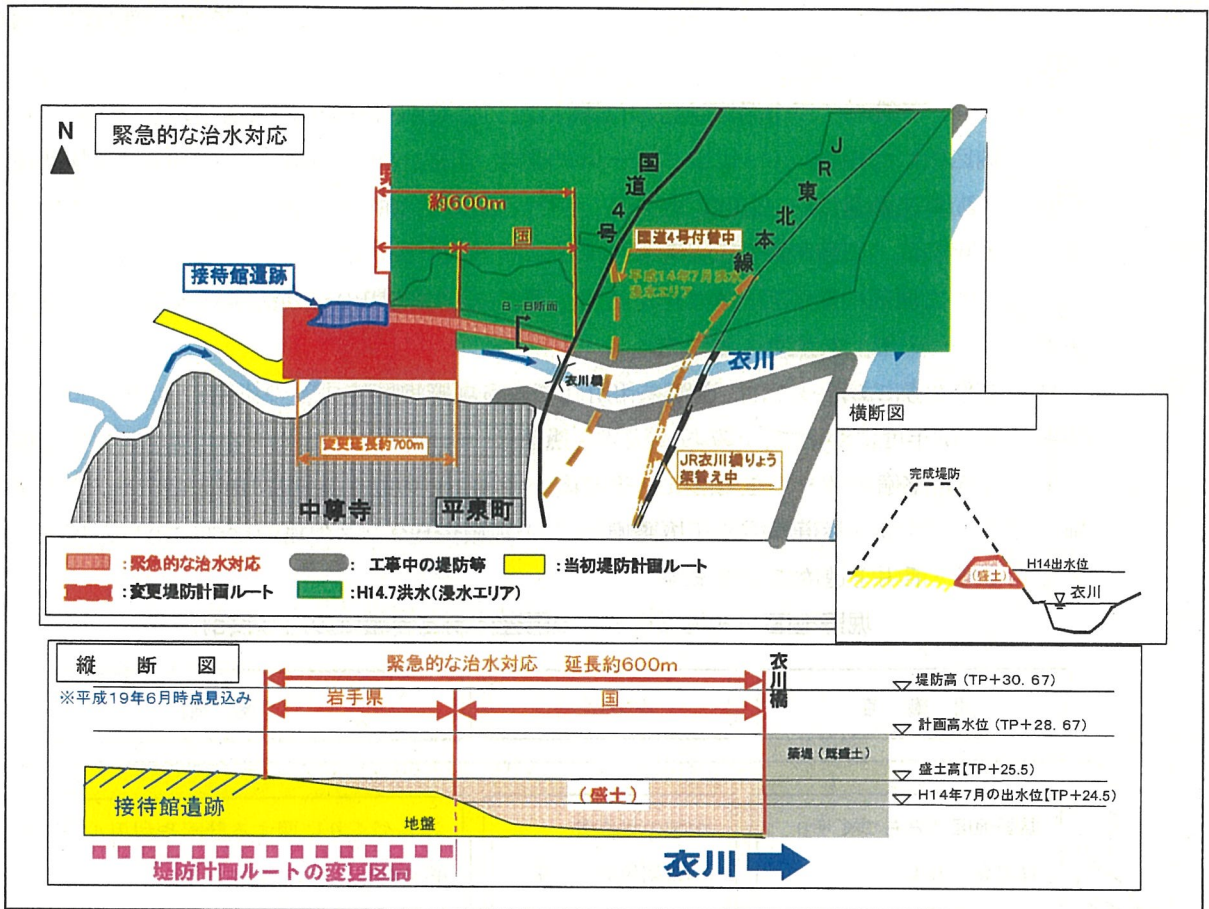
緊急的な治水対応としては、ルート変更に伴い堤防整備に更に4～5年程度要することとなったことから、国と県が連携し、住民の不安を解消するよう、川沿いに盛土を整備することにし、洪水期を迎える6月末には整備を完了させることで住民の理解を得ました。

4月に住民説明会を開催してから2ヶ月あまりで、地域住民、関係機関の連携のもと盛土を完成することができました。6月22日には、住民の方を対象とした現地説明会も開催し、600メートルの盛土の状況を確認しました。

平泉の世界遺産登録に向けて、遺跡の保存と治水の両立を図るため、今後とも住民の理解を得ながら地域の安全と整備を図っていきます。



緊急的な盛土



遊水地の役割

- ・ 洪水調節
- ・ 市街地等の水害防御
- ・ 遊水地内の土地利用

出典

一関遊水地事業～
北上川～
岩手河川国道事務所
所資料より抜粋